

ごみ減量化へ向けた

取り組みに協力を



「ごみ減量二〇%大作戦」

東条地域でも「ごみ減量二〇%大作戦」を開始します。

市では、今年の四月からごみを減らすために、みどり園の処理区である滝野地域で、容器包装プラスチックの分別収集やごみ収集の有料化を行う「ごみ減量二〇%大作戦」を進めており、中間報告では約二五%のごみが減少しています。

この取り組みを市全域で生かし、資源の有効活用とごみ処理費の削減を図るため、小野クリンセンターの処理区である社、

その他の不燃物
粗大ごみ

新しい分類でのごみの出し方の注意事項については、今月の「広報かとう」と一緒にお配りしたチラシ(社、東条地域のみ)で詳しく説明していますので、必ずお読みください。

大作戦その ごみを減らす工夫を

家庭でできるちょっとした工夫でのごみの排出量を減らすことができます。

家庭に持ち込まない努力をレジ袋削減のために、市ではマイバック運動を推進しています。マイバック購入について十月初旬から回覧でご案内していますので、ご検討ください。できるだけ長く使いましょう。シャンプーや洗剤などの詰め替え商品を使ったり、家具や電気製品を修理して使うなど、長く大切に使うように努めましょう。

大作戦その 排出方法の見直し

「ごみ」として排出するのではなく、リサイクルの制度を積極的に活用していただくことで、ごみの排出量を減らすことができます。

店頭回収の利用

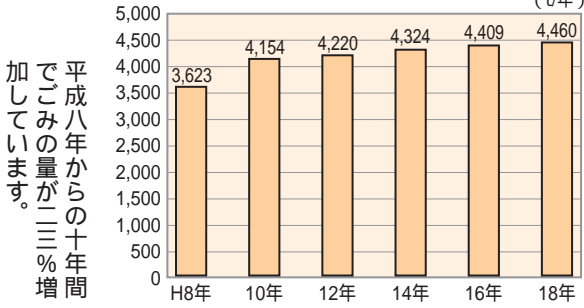
量販店では、ペットボトルや空缶、プラスチック容器などの回収が行われています。店舗で決められた方法でリサイクルをお願いします。

ビール瓶、一升瓶なども酒販店などの店頭回収を活用してください。

資源ごみ集団回収の活用

これまでの資源ごみ集団回収で主に取り扱われていた新聞、雑誌、ダンボール以外に、最近では雑紙類(紙箱、封筒、トイレットペーパーの芯など)も資源ごみとして回収されています。雑紙類は紙袋などに入れて、ひもで縛って集団回収に出して

家庭から出た燃やせるごみの排出量の推移 (社・東条地域)



平成八年からの十年間でごみの量が三三%増加しています。



社地域と東条地域の全世帯にお配りしたプラスチックごみの分別方法を説明しているパンフレットです。このパンフレットの中に、ごみの分類の変更についてのチラシも挟んでいますので、ご覧ください。

分別方法などは、各地区での説明会でお知らせしたとおりですが、今月の「広報かとう」と一緒にお配りしたパンフレット(社、東条地域のみ)でも詳しく説明していますので、必ずお読みください。

- 缶・小型金属
- びん(白・茶・その他)
- 乾電池
- 電球・蛍光灯
- ペットボトル
- 容器包装プラスチック
- 硬質プラスチック
- 燃えるごみ

生ごみの減量方法
市では生ごみ処理機の購入費用の補助を行っていますのでご利用ください。また、堆肥として使用することで、減量することも可能です。

ごみとして出される場合は、水切りを十分に行うことで、減量できます。

問い合わせ
市民生活部生活課

(滝野庁舎)
48・3528